



Daigasグループ 2023年3月期決算 プレゼンテーション資料

2023年5月8日 大阪ガス株式会社

I. 23.3期実績と24.3期見通しの概要	- 2	II. 23.3期実績の対前年比較	- 11
• 決算のポイント	- 3	• 23.3期実績の対前年比較	- 12-16
• 23.3期実績の対前年差のポイント	- 4	III. 23.3期実績の対前回見通し比較	- 17
• 24.3期見通しの対前年差のポイント	- 5	• 23.3期実績の対前回見通し比較	- 18-22
• フリーポートLNGプロジェクト停止に関連する損失について	- 6	IV. 24.3期見通しの対前年比較	- 23
• 23.3期実績の対前年比較	- 7	• 24.3期見通しの対前年比較	- 24-28
• 23.3期実績の対前回見通し比較	- 8	V. 補足情報	- 29
• 24.3期見通しの対前年比較	- 9	• フリーポートLNGプロジェクトについて	- 30
• 成長投資実績と見通し	- 10	• 通期見通しに対する主な収支変動要因	- 31

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「実績」に関する注意事項：当社はこれまで連結財務諸表を「連結財務諸表規則」及び「ガス事業会計規則」に基づき作成しておりましたが、23.3期より「連結財務諸表規則」に基づき連結財務諸表を作成しており、前期実績については、当該規則を遡って適用した後の金額となっております。また24.3期からグループ通算制度へ移行するため23.3期末の税効果会計の計算をグループ通算ベースで行っています。

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

なお、24.3期見通しは2023年3月9日公表の見通しに基づいており、公表以降の業績変動の影響は反映されておられません。

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。豊岡エネルギーは22.3期まで12月決算、23.3期より3月決算となります。

I . 23.3期決算と24.3期見通しの概要

2022年3月期実績の各数値については、
会計方針の変更等に伴い、遡及適用後の数値となっております

決算のポイント

- 1** 23.3期は、フリーポートLNG液化基地の停止等により国内エネルギー事業で大きな減益があったものの、海外上流事業やライフ&ビジネスソリューション事業の増益により連結利益を一部回復。ポートフォリオ経営が機能した。

 - 22.3期経常利益 1,135億円
 - フリーポート停止に関連する損失 ▲1,477億円
 - 23.3期経常利益 756億円
- 2** 24.3期は、フリーポートLNG液化基地の運転再開やタイムラグ差損益の改善等により、反転増益を見込む。

 - 24.3期経常利益見通し 1,590億円
(前年差 +833億円)
- 3** ROICは、23.3期は主にNOPATの減少により低下したものの、24.3期は中期経営計画の目標達成を見込む。

 - 23.3期ROIC 2.7%
 - 24.3期ROIC見通し 5.4%
(中期経営計画目標 5%程度)
- 4** 財務健全性は、23.3期の期中には一時的に低下したものの、期末には中期経営計画で示す水準まで回復。24.3期も同水準を維持する。

自己資本比率(ハイブリッド社債の資本性考慮後)

 - 23.3期2Q末 46.0%
 - 23.3期4Q末 52.5%
(中期経営計画の水準 50%程度)
- 5** 株主還元は、21.3期以降に3期連続で増配しており、24.3期も増配を目指す。

 - 年間配当金

20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期 (予想)
50.0円	52.5円	57.5円	60.0円	65.0円

23.3期実績の対前年差のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業でガス及びLNGの販売価格が高めに推移したこと、海外エネルギー事業で米国及び豪州の上流事業の販売価格が高めに推移したこと等により、22.3期に比べて増収。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、フリーポートLNG液化基地停止に関連する損失等により、22.3期に比べて減益。ROICも22.3期より低下。
- ✓ 財務健全性は、22.3期末とほぼ同水準。
- ✓ 配当額は、当初計画通り2.5円増配の60.0円を予定。

(億円)	23.3期	22.3期	前年差
売上高	22,751	15,911	+6,839
経常利益	756	1,135	▲378
親会社株主に帰属する当期純利益	571	1,304	▲733
ROIC(%)	2.7%	7.1%	▲4.4%
自己資本比率(%) ^{*1}	52.5%	52.5%	▲0.1%
D/E比率(倍) ^{*1}	0.60	0.54	+0.07
配当額(円/株)	60.0	57.5	+2.5

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

24.3期見通しの対前年差のポイント

- ✓ 売上高は、原料調達価格の低下に伴い、国内エネルギー事業のガス販売単価が低下すること等により、23.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、フリーポートLNG液化基地の運転再開、タイムラグ差損益の改善等により、23.3期に比べて増益となる見通し。
- ✓ ROICも増益に伴って向上し、中期経営計画の目標達成を見込む。
- ✓ 配当額は、5.0円増配の65.0円を目指す。

(億円)	24.3期 見通し	23.3期	前年差
売上高	20,170	22,751	▲2,581
経常利益	1,590	756	+833
親会社株主に帰属する当期純利益	1,160	571	+588
ROIC(%)	5.4%	2.7%	+2.8%
自己資本比率(%) ^{*1}	50.5%	52.5%	▲1.9%
D/E比率(倍) ^{*1}	0.59	0.60	▲0.01
配当額(円/株)	65.0	60.0	+5.0

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

フリーポートLNGプロジェクト停止に関連する損失について

✓ フリーポートLNGプロジェクト*1停止に関連する損失は、1,477億円。

(億円)

セグメント	分類	23.3期	参考		
			2/6公表 見通し	見通し差	
国内 エネルギー	当社顧客向け販売 フリーポートの操業停止により 代替調達コストが発生	ガス事業 粗利	-1,317	-1,333	+16
	他社へのLNG販売 フリーポートの操業停止により 各種契約に応じた対応損失が発生	その他			
海外 エネルギー	オーナー側の損失1 フリーポート社への出資分の収益の逸失等	OGUSA*2 営業損益	-144	-145	+1
	オーナー側の損失2 第1系列への出資分の収益の逸失等	その他 (持分法 投資損益)			
営業外損益(為替影響)			-15	-17	+2
経常利益影響 計			-1,477	-1,495	+18

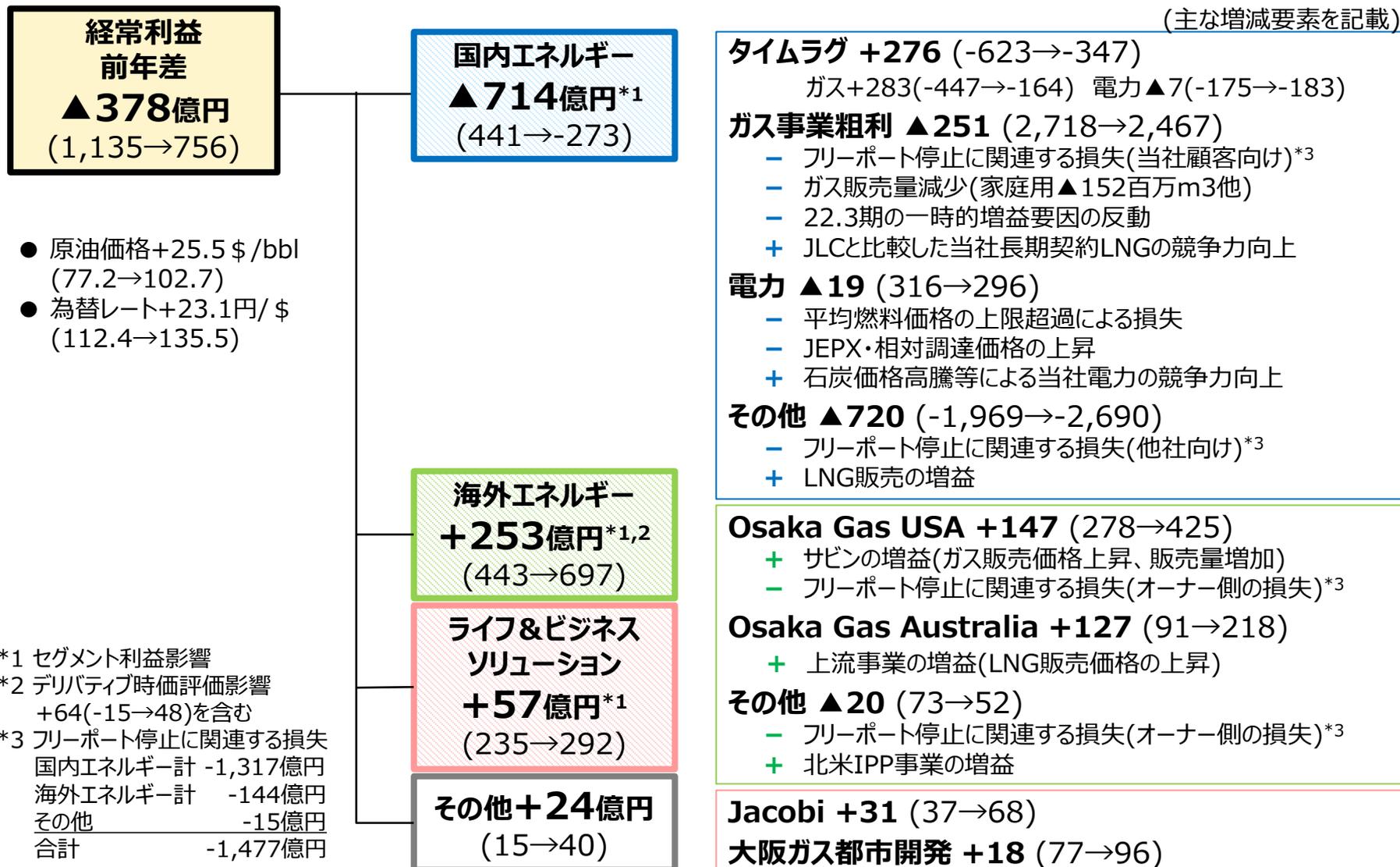
*1 フリーポートLNGプロジェクトからの調達や出資等の関係についてはP.30を参照

*2 Osaka Gas USA Corporation

23.3期実績の対前年比較(経常利益)

- ✓ JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力向上やタイムラグ差損益の改善、海外上流事業の増益等があったものの、フリーポートLNG液化基地停止による損失等により、前年に比べて378億円の減益。

(主な増減要素を記載)

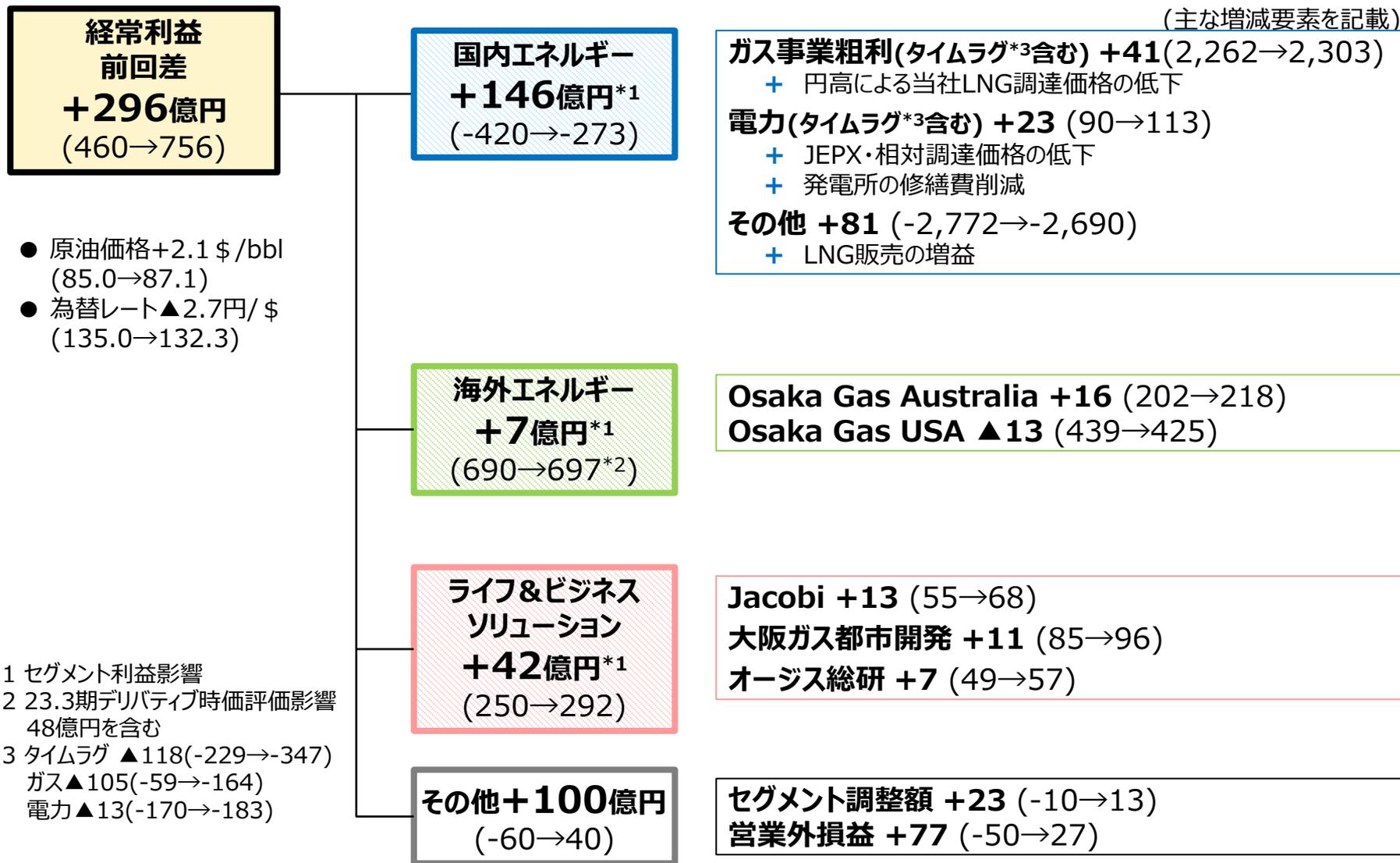


- 原油価格+25.5 \$ /bbl (77.2→102.7)
- 為替レート+23.1円/ \$ (112.4→135.5)

*1 セグメント利益影響
 *2 デリバティブ時価評価影響 +64(-15→48)を含む
 *3 フリーポート停止に関連する損失
 国内エネルギー計 -1,317億円
 海外エネルギー計 -144億円
 その他 -15億円
 合計 -1,477億円

23.3期実績の対前回見通し比較(経常利益)

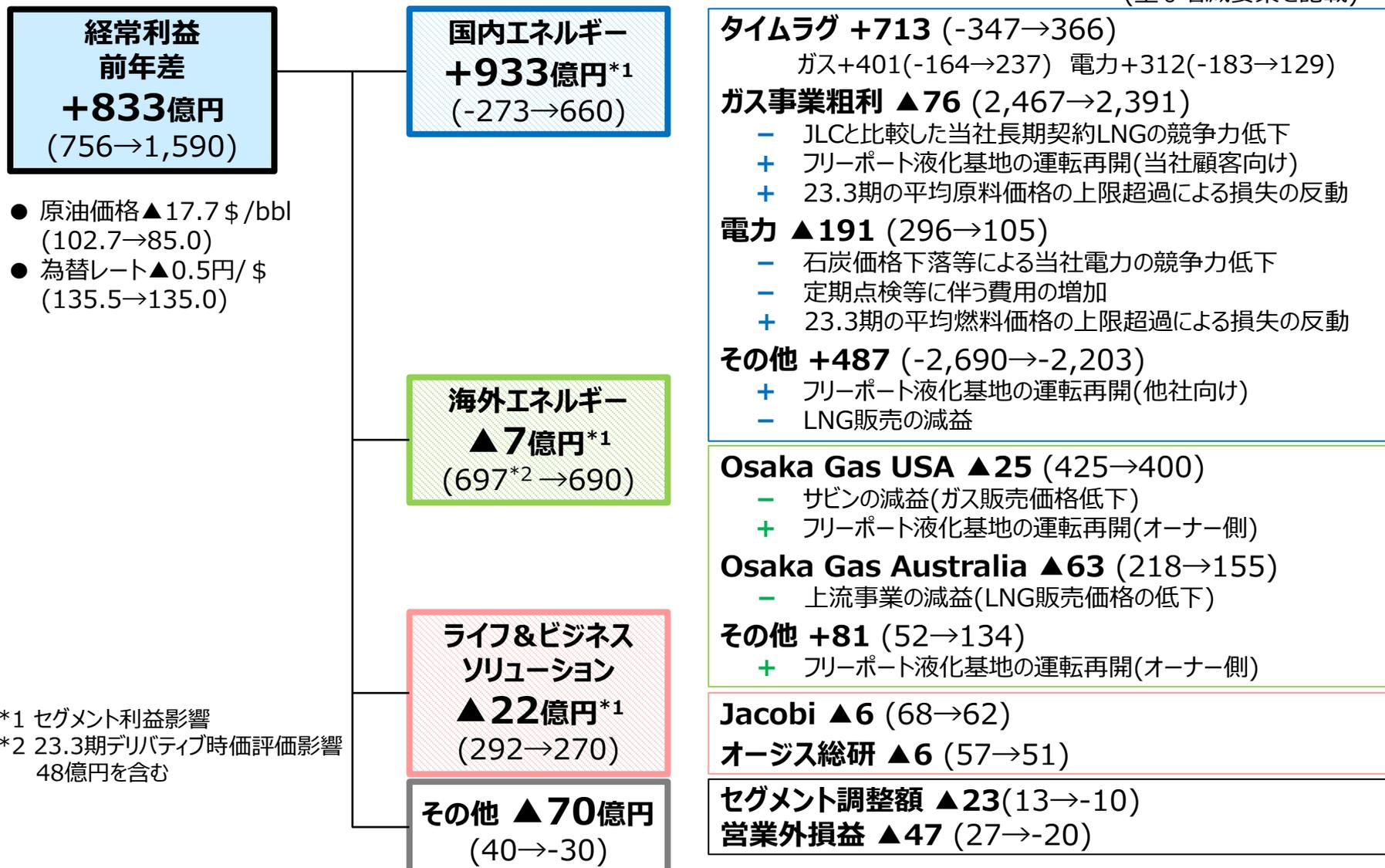
- ✓ LNG販売価格の上昇によるLNG販売益の拡大や円高などによるガス事業の増益、ライフ&ビジネス ソリューション事業での増益等により、前回見通しに比べて296億円の増益。



24.3期見通しの対前年比較(経常利益)

✓ フリーポートLNG液化基地の運転再開やタイムラグ差損益の改善等により、前年に比べて833億円の増益。

(主な増減要素を記載)



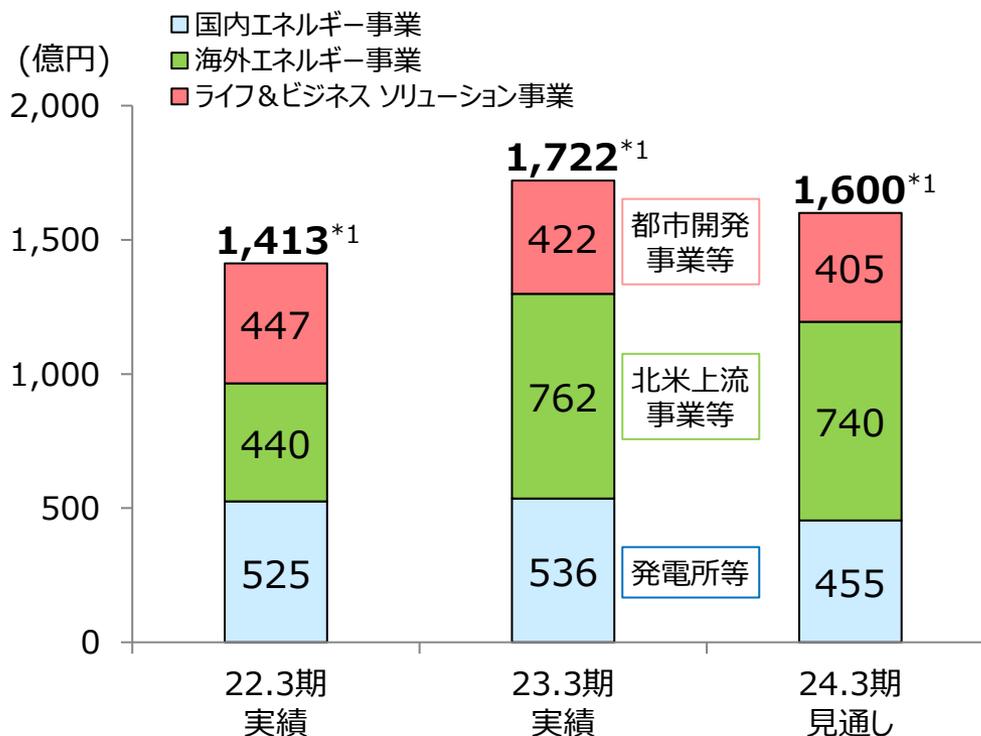
*1 セグメント利益影響

*2 23.3期デリバティブ時価評価影響
48億円を含む

成長投資実績と見通し

- ✓ 23.3期の成長投資額は、1,722億円。
- ✓ 財務健全性は、中期経営計画で示す「自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度」を確保。

成長投資



財務健全性指標

	22.3期 期末実績	23.3期 期末実績	24.3期 期末見通し
自己資本比率	52.5% (49.1%)	52.5% (49.3%)	50.5% (47.6%)
D/E比率	0.54 (0.64)	0.60 (0.71)	0.59 (0.69)

発行済ハイブリッド社債1,750億円(19年12月:1,000億円、20年9月:750億円)の資本性50%を調整。括弧内の数値は調整前。

*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

Ⅱ. 23.3期実績の対前年比較

2022年3月期実績の各数値については、
会計方針の変更等に伴い、遡及適用後の数値となっております

23.3期実績の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	22,751	15,911	+6,839	+43.0%	ガス販売単価上昇、LNG販売価格上昇 等
営業利益	600	992	-392	-39.5%	LNG調達等に伴う費用増 等
経常利益	756	1,135	-378	-33.4%	LNG調達等に伴う費用増 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	-347	-623	+276	-	
(個別)ガス事業	-164	-447	+283	-	
(個別)電力事業	-183	-175	-7	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	571	1,304	-733	-56.2%	LNG調達等に伴う費用増 等
一株あたり当期純利益(円)	137.4	313.7	-176.3	-56.2%	
EBITDA ^{*2}	1,927	2,209	-281	-12.8%	LNG調達等に伴う費用増 等
NOPAT ^{*3}	593	1,387	-793	-57.2%	LNG調達等に伴う費用増 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	102.7	77.2	+25.5	23.3期実績は3月速報値までの平均
為替(円/\$)	135.5	112.4	+23.1	

23.3期実績の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 23.3期 期末実績	B. 22.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	28,195	25,880	+2,315	
自己資本	13,914	12,716	+1,198	
一株当たり純資産(円)	3,347.3	3,059.4	+287.9	
有利子負債	9,815	8,150	+1,664	新規調達 等
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	備考
ROIC	2.7%	7.1%	-4.4%	LNG調達等に伴う費用増 等
国内エネルギー	-0.9%	3.6%	-4.4%	
海外エネルギー	8.6%	16.6%	-8.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	5.6%	4.8%	+0.8%	
ROE	4.3%	11.0%	-6.8%	LNG調達等に伴う費用増 等

	A. 23.3期 期末実績	B. 22.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	49.3%	49.1%	+0.2%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	52.5%	52.5%	-0.1%	
D/E比率	0.71	0.64	+0.06	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	0.60	0.54	+0.07	

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

23.3期実績の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	650	679	-29	
成長投資	1,722	1,413	+309	
国内エネルギー	536	525	+11	
海外エネルギー	762	440	+321	
ライフ&ビジネス ソリューション	422	447	-24	
設備投資	1,953	1,893	+60	
減価償却費	1,198	1,089	+109	

億円	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	335	1,453	-1,117	運転資本の増加 等
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,039	1,521	+517	
フリーキャッシュフロー ^{*1}	-1,703	-68	-1,635	

*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

23.3期実績の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 23.3期 期末実績	B. 22.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,021	9,812	+209	+2.1%	
ガス供給件数(千件)	5,004	5,026	-22	-0.4%	
低圧電気供給件数(千件)	1,707	1,613	+94	+5.8%	

	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m3) ^{*1,2}	6,845	7,090	-245	-3.5%	
家庭用	1,697	1,849	-152	-8.2%	
業務用等	5,148	5,241	-93	-1.8%	
国内電力販売量(百万kWh) ^{*2}	15,883	16,760	-876	-5.2%	
小売	6,390	6,189	+201	+3.3%	
卸等	9,493	10,571	-1,078	-10.2%	

	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.8	17.2	+0.7	

*1 45MJ/m3

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」第103-2項に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

23.3期実績の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 23.3期 実績	B. 22.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	22,751	15,911	+6,839	+43.0%	
国内エネルギー	19,716	13,407	+6,309	+47.1%	ガス販売単価上昇、LNG販売価格上昇 等
海外エネルギー	1,232	807	+425	+52.6%	米国及び豪州の上流事業での増収 等
ライフ&ビジネス ソリューション	2,585	2,370	+214	+9.1%	材料ソリューション事業の増収 等
調整	-784	-675	-108	-	
セグメント利益^{*1}	729	1,120	-391	-34.9%	
国内エネルギー	-273	441	-714	-	LNG調達等に伴う費用増 等
内、電力	113	140	-27	-19.2%	
海外エネルギー	697	443	+253	+57.3%	米国及び豪州の上流事業での増益 等
ライフ&ビジネス ソリューション	292	235	+57	+24.3%	材料ソリューション事業の増益 等
調整	13	0	+12	-	
タイムラグ差損益^{*2}	-347	-623	+276	-	
(個別)ガス事業	-164	-447	+283	-	
(個別)電力事業	-183	-175	-7	-	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響^{*3}	48	-15	+64	-	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

*3 海外エネルギーの内数

Ⅲ. 23.3期実績の対前回見通し比較

23.3期実績の対前回見通し比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	22,751	22,750	+1	+0.0%	
営業利益	600	430	+170	+39.5%	LNG販売価格上昇 等
経常利益	756	460	+296	+64.5%	LNG販売価格上昇 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	-347	-229	-118	-	
(個別)ガス事業	-164	-59	-105	-	
(個別)電力事業	-183	-170	-13	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	571	360	+211	+58.6%	LNG販売価格上昇 等
一株あたり当期純利益(円)	137.4	86.6	+50.8	+58.7%	
EBITDA ^{*2}	1,927	1,610	+317	+19.7%	LNG販売価格上昇 等
NOPAT ^{*3}	593	404	+189	+46.9%	LNG販売価格上昇 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	102.7	96.4	+6.3	23.3期実績は3月速報値までの平均
為替(円/\$)	135.5	135.7	-0.2	

23.3期実績の対前回見通し比較 - ②資産等

億円	A. 23.3期 期末実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
総資産	28,195	28,353	-157	
自己資本	13,914	13,532	+382	
一株当たり純資産(円)	3,347.3	3,254.6	+92.7	
有利子負債	9,815	10,323	-507	

	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
ROIC	2.7%	1.8%	+0.9%	LNG販売価格上昇 等
ROE	4.3%	2.7%	+1.5%	LNG販売価格上昇 等

	A. 23.3期 期末実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
自己資本比率	49.3%	47.7%	+1.6%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	52.5%	50.8%	+1.6%	
D/E比率	0.71	0.76	-0.06	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	0.60	0.66	-0.05	

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

23.3期実績の対前回見通し比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
品質向上投資	650	740	-89	
成長投資	1,722	2,000	-277	
設備投資	1,953	1,920	+33	
減価償却費	1,198	1,100	+98	

億円	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	335	1,217	-881	運転資本の増加 等
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*1}	2,039	2,740	-700	
フリーキャッシュフロー ^{*2}	-1,703	-1,522	-181	

*1 見通しは投資額を記載

*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

23.3期実績の対前回見通し比較 - ④件数、販売量等

	A. 23.3期 期末実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,021	10,202	-181	-1.8%	

	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³)* ^{1,2}	6,845	6,834	+11	+0.2%	
家庭用	1,697	1,732	-35	-2.0%	
業務用等	5,148	5,102	+46	+0.9%	
国内電力販売量(百万kWh)* ²	15,883	16,215	-332	-2.0%	

	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	備考
平均気温(℃)	17.8	17.6	+0.2	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

23.3期実績の対前回見通し比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 23.3期 実績	B. 23.3期 2/6見通し	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	22,751	22,750	+1	+0.0%	
国内エネルギー	19,716	19,740	-23	-0.1%	
海外エネルギー	1,232	1,160	+72	+6.3%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,585	2,600	-14	-0.6%	
調整	-784	-750	-34	-	

セグメント利益* ¹	729	510	+219	+43.0%	
国内エネルギー	-273	-420	+146	-	LNG販売価格上昇 等
内、電力	113	90	+23	+26.3%	
海外エネルギー	697	690	+7	+1.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	292	250	+42	+16.9%	材料ソリューション事業の増益 等
調整	13	-10	+23	-	

タイムラグ差損益* ²	-347	-229	-118	-	
(個別)ガス事業	-164	-59	-105	-	
(個別)電力事業	-183	-170	-13	-	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

IV. 24.3期見通しの対前年比較

24.3期見通しの対前年比較- ①売上高・利益等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,170	22,751	-2,581	-11.3%	ガス販売単価低下 等
営業利益	1,395	600	+794	+132.5%	LNG調達等に伴う費用減 等
経常利益	1,590	756	+833	+110.2%	LNG調達等に伴う費用減 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	366	-347	+713	-	
(個別)ガス事業	237	-164	+401	-	
(個別)電力事業	129	-183	+312	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	571	+588	+103.1%	LNG調達等に伴う費用減 等
一株あたり当期純利益(円)	279.1	137.4	+141.7	+103.1%	
EBITDA ^{*2}	2,645	1,927	+717	+37.2%	LNG調達等に伴う費用減 等
NOPAT ^{*3}	1,267	593	+674	+113.6%	LNG調達等に伴う費用減 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	85.0	102.7	-17.7	24.3期前提 : 85\$/bbl
為替(円/\$)	135.0	135.5	-0.5	24.3期前提 : 135円/\$

24.3期見通しの対前年比較- ②資産等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	29,568	28,195	+1,372	
自己資本	14,071	13,914	+157	
一株当たり純資産(円)	3,385.1	3,347.3	+37.8	
有利子負債	9,726	9,815	-89	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
ROIC	5.4%	2.7%	+2.8%	LNG調達等に伴う費用減 等
ROE	8.5%	4.3%	+4.2%	LNG調達等に伴う費用減 等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	47.6%	49.3%	-1.8%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	50.5%	52.5%	-1.9%	
D/E比率	0.69	0.71	-0.01	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*1}	0.59	0.60	-0.01	

*1 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

24.3期見通しの対前年比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	900	650	+249	
成長投資	1,600	1,722	-122	
国内エネルギー	455	536	-81	
海外エネルギー	740	762	-22	
ライフ&ビジネス ソリューション	405	422	-17	
設備投資	2,140	1,953	+186	
減価償却費	1,035	1,198	-163	

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,820	335	+2,484	23.3期運転資本の増加の反動 等
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*1}	2,500	2,039	+460	
フリーキャッシュフロー ^{*2}	320	-1,703	+2,023	

*1 見通しは投資額を記載

*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

24.3期見通しの対前年比較- ④件数、販売量等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,156	10,021	+135	+1.4%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m ³)* ^{1,2}	6,778	6,845	-67	-1.0%	
家庭用	1,715	1,697	+18	+1.0%	
業務用等	5,063	5,148	-85	-1.6%	
国内電力販売量(百万kWh)* ²	15,620	15,883	-263	-1.7%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
平均気温(°C)	17.3	17.8	-0.5	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

24.3期見通しの対前年比較- ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,170	22,751	-2,581	-11.3%	
国内エネルギー	16,880	19,716	-2,836	-14.4%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	1,250	1,232	+17	+1.4%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,770	2,585	+184	+7.1%	
調整	-730	-784	+54	-	

セグメント利益* ¹	1,610	729	+880	+120.8%	
国内エネルギー	660	-273	+933	-	LNG調達等に伴う費用減 等
内、電力	235	113	+121	+106.8%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	690	697	-7	-1.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	270	292	-22	-7.7%	
調整	-10	13	-23	-	

タイムラグ差損益* ²	366	-347	+713	-	
(個別)ガス事業	237	-164	+401	-	
(個別)電力事業	129	-183	+312	-	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

V. 補足情報

フリーポートLNGプロジェクトについて

✓ 当社はフリーポートLNGプロジェクトに出資参画し、また年間232万トンのLNGを調達している

国内エネルギーセグメント(LNG調達の流れ)

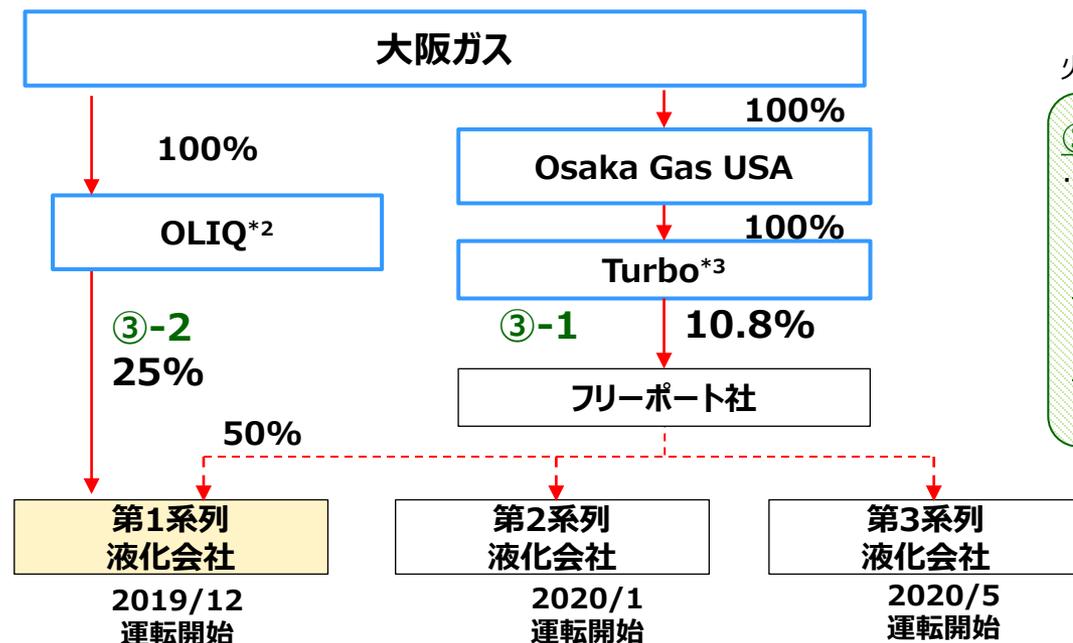


火災に関連する主な損失の内容

① **当社顧客向け販売**(ガス事業粗利に計上)
 …フリーポートの操業停止により代替調達コストが発生

② **他社へのLNG販売**
 (国内エネルギーセグメントのその他に計上)
 …フリーポートの操業停止により各種契約に応じた対応損失が発生

海外エネルギーセグメント(出資の流れ)



火災に関連する主な損失の内容

③ **オーナー側の損失**
 …以下の2種類の経路で出資しており、操業停止で収益逸失

- ③-1. **フリーポート社への出資**
 (営業損益に計上)
- ③-2. **第1系列への出資**
 (持分法投資損益に計上)

*1 Osaka Gas Trading and Export LLC
 *2 Osaka Gas Liquefaction LLC
 *3 Turbo LLC

通期見通しに対する主な収支変動要因

気温・水温影響

	変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温	+1℃	-7%

油価・為替影響

4月以降の下記前提に対して
変化が生じた際の影響額

<前提>

- 原油価格 85 \$/bbl
- 為替レート 135円/\$

	変動幅	セグメント	収支影響	経常利益への 影響額
原油 価格	+ 1\$/bbl	海外エネルギー	増益	-9.3億円
		国内エネルギー	減益	
為替 レート	+ 1円/\$	海外エネルギー	増益	-3.8億円
		国内エネルギー	減益	

